

## 産業建設常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和5年2月9日(木) 午前10時0分
- 2 閉会日時 令和5年2月9日(木) 午前11時39分
- 3 会議場所 熊山支所大会議室
- 4 出席委員  
2番 鼻岡 美保君                      7番 佐々木雄司君                      11番 治徳 義明君  
13番 金谷 文則君                      16番 佐藤 武文君                      18番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員  
な し
- 6 説明のために出席した者  
市 長 友實 武則君                      副 市 長 前田 正之君  
産業振興部長 是松 誠君                      建設事業部長 高橋 渉君  
農 林 課 長 矢部 勉君                      商工観光課長 大崎 文裕君  
地域整備推進室長 森本 祐司君                      建 設 課 長 福圓 章浩君  
上下水道課長 中務 浩行君                      農林課参事兼  
地域整備推進室参事 三田 義雄君  
赤坂支所 産業建設課長 石井 徹君                      熊山支所  
産業建設課長 岡田 浩司君                      砂子 武久君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 土井 常男君                      副 参 事 野田 順子君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について  
2) その他

午前10時0分 開会

○委員長（金谷文則君） それでは、ただいまから産業建設常任委員会を開会したいと思います。

換気のため、会議室の出入口については開いたまま進めさせていただきたいと思いますので、御協力のほどよろしく願いをいたします。

また、本日は閉会中の委員会ですけれども、市長並びに副市长から、この会への出席の申出があり、特に協議事項に入る前に、いろいろ先般の議会からこの特に産業建設常任委員会へ付託されたいろんな案件もありますので、まちづくり等について市長から皆さんにお話をしたいということでございますので、許可しておりますので、先にその説明を聞きたいと思います。その後、質疑を行いまして、終わりましたら市長、副市长は公務がございますので、退席ということで、それが終わりました後に通常の形で進めさせていただきたいと思いますので、御了承のほどよろしく願います。

それでは、進めさせていただきたいと思います。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 委員の皆さん、おはようございます。

本日は、この2月の産業建設常任委員会、その中で少だけ説明をさせていただくということで、貴重なお時間を頂戴するということでございます。何とぞ御理解のほどよろしく願い申し上げます。

そして、説明の前に、昨年末の定例市議会の中で赤磐市のほうが説明を不足している、とりわけ全市域についてのまちづくりの考え方、そして市民に対する説明の在り方、こういったことを論点にいろんな御指摘をいただきました。これについて深く反省もし、市の計画実行についてもどういうふうにやっていくか、いろいろ反省の下に見直しを行っているところでございます。まずは、委員の皆様方に混乱あるいは御迷惑をおかけしたことに對して心より深くおわびを申し上げます。どうも申し訳ございませんでした。

以降は着席の上で説明をさせていただきます。

まず、この都市計画をお願いするというところで進めておりましたが、この前段となる背景から簡単に説明をさせていただきます。

まず、この赤磐市のまちづくり、この根底にございますのは、4町合併の折に今後赤磐市をこういうまちづくりを進めようということで定められております新市建設計画、こういったものの中に、北部の地域に関しては、特に農産物やスポーツ、レクリエーション資源、こういったものを生かして都市部との交流を促進するという、もう一つ重要なこととして、美作岡山道路の整備の効果を企業誘致に生かすなど、地域の雇用の場の確保に努めるということが明確に定められております。一方の南部の地域ですけれども、南部の地域に関しては山陽自動車道

をはじめとする道路網の整備、あるいは商業施設の集積、そういったことを生かしながら都市的環境の整備を進めると、こういうふうな方針が位置づけられています。平成18年市議会でもこれが承認され、採択されているところをごさいます、これらは赤磐市の目指すまちづくり、現在においても非常に合理的で、そうあるべきということで、第2次総合計画にもこの骨子を踏まえたもの、またそれに付随して山陽団地の活性化計画の中でも団地内、そして団地外、周辺の近いところにおいても拠点を形成する必要があるということが位置づけられているところをごさいます、そのほかにも赤磐市のまちづくりの中でこれらを基本の骨子として、柱として進めてきているところをごさいます。

これまでのこの方針に従っての各種の事業、吉井地域でも特に企業誘致、これは民間企業の例えば新規に移設、あるいは工場の増設、そういったことも含めてこれまでも積極的に行ってまいりました。仁堀工業団地に進出されます大松精機さん、これも非常に優良な企業でございまして、これを誘致するにもこの基本方針に従ったものでございまして。

また、美作岡山道路が開通をしまして、吉井インターチェンジの周辺についても今ある企業と可能性について協議を進める、これについても積極的に推し進めていくということで、これが行われております。

また、赤坂地域についても、これまで様々な企業が工場の新增設あるいは移設、そういったことでかなりの数が実施されているところをごさいます。これを列記することは今日はいたしません、皆様の御存じのとおりでございまして。そして、この赤坂地域についても数年前に各地区の企業誘致の適地調査、農地であれば農振計画や農地法、そういったものに開発が合致しているそういう農地、なかなかそれはたくさんはございませぬ。そういった中でインターチェンジに近く、そして開発が可能という場所を選び出して、そこらについての企業から問合せがあった際にはこれを推薦していくというような形で、今でも案件を何件か抱えております。いずれにしても、やはり民間企業の主導的な判断から実現するという事なので、積極的に推薦をしていくという立場を取っております。

熊山地域についても、同じく熊山インターチェンジあるいは熊山工業団地の利点を生かしながら、これらの企業誘致を積極的に進めているというような推進をさせていただいているところでございまして。

これらは、公表という形には相手のあることですから、なかなかできません。そういったことで、話が具体化する際には必ず産業建設常任委員会にも御報告をし、この実現を共に目指していこうということで、情報を共有するという姿勢で臨ませていただいているところをごさいます。

また、今回の都市計画については、こういった流れをくんだ中で、岡山県南広域都市計画に定められた区域については、所定のルールに基づいた手続が必要でございまして。この手続をしながら先へ先へと進もうという姿勢でございましたが、市民の皆様に説明会等をやっておる

んですけども、これが十分とは言えないという指摘を受けております。これについてもそのとおりだと思っております、反省をしております。今後、年度内、できれば2月、3月中に残る説明会を、開催することができなかった地域についても説明会を開催し、市民の一人でも多くの方に御理解を得ようということを進ませていただいております。

そして、都市計画の手続についてでございますけども、これは岡山県南都市計画区域ということで旧山陽町、それから旧熊山町の桜が丘東の地域、これが岡山県南都市計画区域ということで、岡山、倉敷を含めて6市町がこの区域に定められておまして、この県南広域都市計画の総合調整ということで、決定権者が岡山県になります。岡山県についてもこの6市町が協調しながら同じルールの下で都市計画を定めるまちづくり、土地利用を定めていくということで、厳重にルールが定められておまして、このルールはかなり厳しく、我々にとっても非常に苦労しました。何年もかけて岡山県と協議をさせていただいて、広域的に適用ができるルール、こういったものの下に都市計画を定めるのであれば、こういった赤磐市のまちづくりに対して支援がいただけるということで、時間をかけて協議をしてきました。そして、このたび岡山県とほぼほぼ合意の取れる方針を定めることができまして、その方針に従って各種手続を進めていくと、そういう段階にあります。

今後、この都市計画を定めることができなければ一步も前に進まないという状況でございます。またこれらを委員の皆様方に御理解いただきながら、一步ずつ前向きに進めていきたいということが、私が委員の皆様にお伝えしたい、気持ちを共有したい、そういうことでございます。詳しいことについては、必要に応じて担当のほうからも説明をさせていただきます。

私からは以上でございます。よろしくお願いたします。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

市長から市のほうの考え方、進め方、それについて説明がございました。そのことについて、今の発言について何か質疑がございましたらどうぞ、委員の皆様方いかがでしょうか。

お話を承ったということによろしいか。

○副委員長（治徳義明君） 意見でもよろしいですか。

○委員長（金谷文則君） 質疑、質問があったら聞いてください、取りあえず。

○副委員長（治徳義明君） 意見は。

○委員長（金谷文則君） 意見はちょっと待ってください。

どうでしょうか、お伺いしたということによろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） じゃあ、今の御意見について説明されたことについては、ここで皆さんお伺いをしたというふうに進めさせていただきたいと思えます。

○副委員長（治徳義明君） すいません、意見……。

○委員長（金谷文則君） 何か意見、どうぞ。

○副委員長（治徳義明君）　ありがとうございます。

ただいま市長からまちづくりにつきまして、るる説明がありました。今回は赤磐市の都市計画マスタープランを踏まえての立地適正化計画の説明でありましたけれども、現実的には今説明不足であるとか、そしてもう少し議論をするべきであるとか、また中山間地域を置き去りにするのではないかというふうな御意見の下、立地適正化計画の手續に關した1,200万円が予備費に回ってるということがあります。これをもう一刻も早く進めていくべきだろうと、議論を進めていくべきだろうと考えます。予備費に修正案を出された議員も、それに賛同された議員も、恐らく市の説明と、そして議論を進めたいと、こういうふうに思ってるのではないかと、思ってますので、ぜひ進めていかなければならないと思います。

そして、いろいろお話を聞きますと、前回の委員会でも言ったんですけども、市民の皆さんも、また議員の皆さんも基礎ベースのマスタープランではなくて、赤磐市をどのようにいいまちにしていきたいかというアクションプランを議論したいんだと思いますので、1つステージを進めるためにも、立地適正化の今予備費に回っている状況をきちっと説明していただいて、進めていくべきだろうと思ってます。

そして、前回どこでやるのかというふうな話が、全協でやるのか、特別委員会をやるのかとかというふうなお話もあったんですけども、いろいろ様々な意見があったんですけども、よくよく考えてみたら、12月議会で産建のその他で議論をして、その上で予算常任委員会で可決をして、本議会で修正案が出て予備費に回ったということ、この経緯を考えていけば、全協とか予算常任委員会でこういった問題を進めていかなければ、今まちづくりの一生懸命説明をしていただきましたけども、説明をしていただいただけで終わってしまうということなので、ぜひそういったことを進めていただきたいと、こういうふうに思ってます。

以上です。

○委員長（金谷文則君）　他に何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君）　ありませんね。分かりました。

では、そのようなことで、産建は産建でできること、それから市のほうは市のほうでやらなきゃいけないこと、この間から具体的に何も動いてないと思いますので、何か物が動くように、みんなにアピールできるように執行部のほうも努力をいただいて、議会のほうとしても様々な理解ができれば、必要なようにやるべきだろうと思えますし、今の中で所管の産業建設常任委員会、今は産業建設常任委員会でございますので、産業建設常任委員会の中の所管で取り扱えることについてのみの協議、意見ということが望ましいかなと思っておりますので、それについては産建で進めさせていただきたいと思えます。

そのようなことで、今の市長、副市長さんの出席につきましては、それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） よろしいですね。

じゃあ、お二人、ありがとうございました。

以上で市長と副市長は公務のために退席されますので、よろしく願いをします。ありがとうございました。

〔市長 友實武則君、副市長 前田正之君 退席〕

○委員長（金谷文則君） それでは、改めまして通常の形での委員会のほうへ進めさせていただきたいと思います。

まず、協議事項の1番目、事業の進捗状況について、産業振興部から説明をお願いいたします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） それでは、産業振興部、農林課、商工観光課、それぞれ担当課長より説明を申し上げます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、産業振興部資料の2ページを御覧ください。

1、事業の進捗状況につきましてです。

(1) がんばろう赤磐物価高騰緊急対策農畜産経営支援金でございますけれども、2月1日現在では281件に交付決定しております。おおむね順調に進捗しております。

それから、(2) 是里ワイナリー指定管理者の代表取締役の交代がございましたので御報告いたします。1月31日付で株式会社ワールドインテック——ドイツの森ですね——の取締役副社長の高井氏が代表取締役に就任されております。是里ワイン醸造場の経営状況は、皆様御承知のとおりでございますけれども、今後健全経営を持続的にを行うため、株式会社ワールドインテックからの増資も行われまして、経営力を強化すると聞いております。

それから次、(3) 赤磐市次世代農業技術集積センター整備事業（就農等支援センター事業）でございます。就農等支援センター事業について確認させていただきますけれども、まず3ページを御覧ください。

この3ページと、それから次の4ページにつきましては、令和4年2月の当委員会で御説明させていただきました資料でございます。3ページにつきましては、今後市がどのような農業振興を推進していくのか、位置や概要を示しております。果樹に関しては、吉井地域でぶどう、山陽、赤坂、熊山地域では、桃やぶどうの生産振興のための用地整備を進めたいと考えております。また、津崎地内に確保している同センター用地では、法人格を持った組織を設立し、そこが中心となり、先進農業技術の推進と普及を行う計画でございます。

4 ページを御覧ください。

就農等支援センターで担うことが求められている業務を列記しており、さらにその下には、就農等支援センターの運営組織のイメージを示しております。この図の中で、右下に民間事業者と記載がございますけれども、今回提案のありました優先交渉権者の青空株式会社は、この位置の業務を担っていただくことを想定しまして、現在協議を進めております。

それから、資料5 ページを御覧ください。

青空株式会社のパンフレットを添付しておりますが、会社の概要等がこれで幾分お分かりいただけると思います。現在の市内での営農状況でございますけれども、熊山地域で約2ヘクタールの圃場を借り受けて営農を開始しております。また、ほかにも正崎地区で野菜の栽培——これはキャベツなんですけれども——を試験的に手がけられておられ、高齢化等で数年先には耕作放棄地が広がる懸念のある地区におきましても、若い農場作業者を置いて鋭意営農活動を進めており、今後も営農規模の拡大等に伴い、耕作放棄地の解消等、市の農業に寄与される農業者と考えられております。

それから、資料6 ページを御覧ください。横向きになります。

今回の青空株式会社の提案内容でございますけれども、市の農業振興計画を読み込んだ上で御提案いただいた事業取組の俯瞰図、広い視野で御覧いただいとるものでございます。これは、あくまで提案でございまして、これからこの内容につきまして話し合い、協議を行って、決めていく予定でございます。また、今後市内の農業大学校や県の三徳園とも近接している地の利を生かして、協力して事業の展開を図っていく展望もお聞きしております。

今後の状況も引き続き当委員会に御報告させていただきますので、今後とも御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

以上、農林課の事業進捗状況の御報告でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続いてお願いいたします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、商工観光課から事業の進捗につきまして御説明をさせていただきます。

資料の10ページをお願いいたします。

(1) がんばろう赤磐コロナ対策飲食店感染防止奨励金につきましては、交付決定件数が50件、交付決定額が1,000万円になりました。先月から1件の増加でございます。

続きまして、(2) がんばろう赤磐原油高騰対策運送事業者支援金につきましては、交付決定数が32件、交付決定額が1,227万5,000円で、先月から5件、206万5,000円の増加でございます。

続きまして、(3)あかいわオンライン合同企業勉強会につきましては、例年3月中旬に高校1、2年生を対象に実施しておる事業でございます。昨年度もオンラインで開催いたしております。本年度につきましてもコロナの影響を考え、オンラインでの開催を予定しております。参加高校につきましては現在募集中でございますが、学校単位では瀬戸南高校が参加の意向を示しておられます。令和元年度、令和2年度につきましては、コロナの影響で中止しておりました。令和3年度から再開しております。実績はつかめておりませんが、平成30年度参加企業22社のうち13社で参加高校からの採用につながっておりますので、参加企業さん全社に採用実績ができるよう事業継続していきたいというふうに考えております。

資料の11ページには今年度の参加企業さんの一覧表を、それから資料の12ページに募集のチラシを添付しております。後ほど御確認いただけたらと思います。

商工観光課からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

建設事業部のほうは、今回は進捗状況の説明がございませんので、産業振興部の今報告されましたことにつきまして質疑をお受けしたいと思います。

質疑はございませんでしょうか。

○委員（佐々木雄司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 農業支援センターのお話なんですけども、4ページで運営組織イメージ図ということで、フローをつけていただいています。その中で今予定されていらっしゃるということなんだと思うんですが、業務委託内容の中に圃場の管理というところが、一番大変じゃないかなと思われるところが含まれてないなあというふうに今見ている思ったんですけども、ここら辺は今後、圃場の管理みたいなところは協議していくということなんですかね。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま佐々木委員から御質問いただいた件でございますけれども、圃場の管理というのは大変重要なことでございます。今まででしたらよその公社等でしたら作業受委託とかいろいろあるんですけども、やっぱりそういったことも考えていかなきゃいけないと思いますので、今後協議をして、その辺も十分考えてまいりたいと思います。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐々木雄司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 続いて、就職応援事業なんですけど、ここに13社、お申込み状況と



ということで名前を連ねていただいているんですが、こちら辺の例えば初任給であったり、待遇であったりとか、生涯賃金であったり、就職される方が一番最初に検討されるようなものと、あと全国平均とを比べたものとか、岡山県内平均でもいいんですけど、そういったような資料みたいなものがあると、また別の角度でどうすれば地元就職を促していくことができるのかとか、そんなお話もできるのかなというふうに今聞いていて思ったんですが、これはそういう資料というのは今後つかないというか、こんなことをやりますよという御報告だけという感じなんですかね。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） オンライン合同企業勉強会の御質問でございます。

今回の御報告につきましては、オンライン合同企業勉強会で、現在で13社が決まっておりますよという御報告をさせていただいております。これとは別に、企業ガイドブックというものを、赤磐市内の50社程度の企業さんの企業内容であったり、それから初任給であったり、そういったものを記載した資料を作っておるところでございます。このオンライン合同企業勉強会に合わせて、今回の場合ですとウェブで閲覧できるような格好で配布を予定をいたしております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐々木雄司君） 大丈夫です。

○委員長（金谷文則君） 他にはございませんでしょうか。

○副委員長（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） すいません、次世代先進農業についてちょっと確認をさせていただきます。説明では、就農支援センターの一業務として10番目の次世代先進農業の実証ということで、青空株式会社さんのほうへ委託をしたというふうな御説明でありますけども、前回も次世代農業と、この委託された業者さんの関連性がよく分からないというような御指摘もあつたんですけども、6ページに恐らくそういった形で資料を添付されてるんですけども、これプレゼンの資料なんですかね。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 治徳副委員長の御質問にお答えします。

おっしゃるとおり、プレゼン時の資料を添付しました。委員長からもこういった提案を受け

られたのかなという御質問もいただきましたので、今回提出できる資料はお出ししたという次第でございます。

以上です。

○副委員長（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） この6ページを基に、赤磐市の次世代農業の取組と青空株式会社さんがどういうふうにリンクしてるのかというのを説明をお願いします。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 6ページの事業の内容を申しますと、これにつきましては市の農業振興の施策をつづった振興計画においても、こういったことは全部書いてあるんですけども、それから4ページを御覧いただいても想定される業務内容ということであるんですが、これとある程度かぶってくるというか、やる方向の事業としては同じ方向を向いております。それで、実際にこれ先ほどの御説明でもあるんですけども、これを全部じゃあ網羅できるんかという、これから実際具体的にやっていくこと、こういったことを協議して進めてまいるということでございます。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

他にございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、ちょっと私のほうからお聞きしてもよろしいでしょうか。

ちょうど今お話がありました就農支援センターのところの4ページをちょっと見ていただいたところでいくと、先ほど6ページのところには、プレゼンの資料で最終的な青空さんからの矢印は赤磐市に向かっているんですが、ここの4ページにある組織のイメージ図の中に赤磐市という文言が一つもありません。となると、この民間業者さんはちょっとこう分からない。

それともう一つ、この中で業務課という課があって、その課の中でやる仕事が4つ列記してありまして、民間業者がやるのが、その列記されてる中にどこにも見当たりませんが、それを業務委託が1本線で全部、業務委託の線が、矢印が行ってるっていうのはちょっと理解できない組織図に思えます。

それから、評議委員会、事務局、理事会、この組織のメンバーの方が当然決まっておられるんでしょうけど、そこの組織がしっかり完了してるからこそ、その下ができてくると。民間事業者のほうに先に決まって、その上がまだ不安定で決まってないというような形では、物は進

められないのかなあと。私のほうがちょっと理解できてないところが、そのようなところがあるんで、説明のほどお願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの委員長の御質問でございますけれども、このページ自身が、一番上のタイトルで「就農等支援センターの必要性」ということでタイトルしております。全部を市がやっちゃえばよい事業なんですけれども、今回運営組織イメージ図には赤磐市という文言はございませんけれども、市が本当はやらなきゃいけない業務として捉えております。ですけれども、実際にはやり切れないというか、いっぱいいっぱいになかなかポテンシャルを發揮できないところがあるので、そのところをうまい具合に民間事業者さんにお手伝いしていただこうかなあと考えている次第でございます。

それから、組織のメンバー等、上のほうがということで、確かに今回下のほうが先に走ってしまってるんですけれども、やはり物すごくスピードを上げてやっていかなきゃいけないなというのをひしひしと僕も感じておまして、農林課に4年間いるんですけども、全然何かなかなか進まないところで、今回民間事業者さんをもう先にプレゼンをいただいたわけなんですけれども、この上の部分も早急に決めていかないとと思っておりますので、今後ちょっと御相談をさせていただいて、進めていこうと考えてます。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 大変申し訳ないけど、例えは悪いかもしれないけども、泥棒を捕まえて何とかっていうような形になって、また急ぐからこそ何もちょっと抜けてるところが出てくるというのが、今までの赤磐市の進め方じゃないのかなと。もともとこの農業支援センターは当初のやっていく事業の進め方から今逸脱して、逸脱って言ったら失礼だね、変更していった形で今のものになってる。それも焦って土地を用意して、それで農業支援センターという大きなアドバルーンを上げて、それが追いつかなかったからこそ今の状況になってるんじゃないかなと冷静に判断したら、私は思えてなりません。課長も4年間ここへ一生懸命おやりになっておられるのはよく分かるんですけど、私も産業建設常任委員会についてはそれ以上の年数でここに携わらせていただいておりますので、その見とる中では、きちっとやっぱり組織づくりをして、本当にやるんだということができないと、民間の方にも御迷惑をおかけすると思います。もう本当にふらふらしてると思いますんで、なかなか今の御説明では、今日の時点では私はちょっと納得できないなっていうのがもう率直な意見です。

本当に大変だと思いますけど、本当に赤磐の農業を担っていくということから考えたときに、腰を据えて、腹を据えてやっていただかないといけない。それで、この委員会では報告だけみたいな形に全てなってしまっていて、例えば組織の評議を運営組織の中に赤磐市の市の職員がいたり、それは当然私は産業建設常任委員会から誰かが行って、それがちゃんと運営されて

るのかどうかというのもアドバイスをしたり、確認をしたり、チェックをしたりというのが必要だろうと思いますけど、そういうお話がない中で、これが先に業者だけ決めていく。決まったんだから前に進めてくださいなんていうことでは、何か市民に対して申し訳ないなあと。

今、その前の市長の説明にもありましたけど、そこもどうも後先が違うのかなと。少なくともこの産建でやることについては、きちっとしていただきたいなと思いますので、私の意見と、それから質問ですね、その中の組織がどういうふうになってるのか、誰が入ってるのか。この管理の一番最終的な責任はどこが負うのか。それから、ここで当然お金が発生してくるんだろうけど、そのお金を最終的にはじゃあどこが負担をして、どういうふうな尻を拭くのか、そういう説明をいただければと思いますけど、今日では多分無理なのではないかなと思います。次の宿題としてそれはお願いしないと、この民間業者さんとの折衝をしていただくには値しないんじゃないかなというふうに思いますので、御理解をいただきたいなと思います。

それから、最初のことで、是里ワイナリーの社長交代と、こういう御報告がございました。これは、赤磐市のほうが当初は筆頭株主ということで、経営者は、社長はうちの友實市長ということで、なぜここに交代に至ったのかという説明がなかったように思います。その説明をいただいて、皆さんがどうするのか。多分これは業績が思わしくなくて、先ほどのお話のように増資をされたんだろうと思います。それで社長も交代されたんだと思いますが、ここに至るまでは赤磐市の市長が社長ということで、経営責任が当然あるわけで、その経営が改善しなかった、悪化したということについての責任を誰が取っていくのか、責任を取らないままで簡単にこの報告だけで済むような問題なのか、その辺についての御見解をお聞きしたいと思います。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） ただいまの是里ワインの社長の交代ということでございますが、我々が認識しておりますのは、先ほど課長からも説明させていただきましたが、会社の業績というものは近年、非常に厳しいところを歩んできたというところでございます。そういう中で、現に株主あるいは取締役として入っておられます株式会社ワールドインテック、こちらの資金それから人材、あるいは企業ネットワークなどを活用した是里ワイン醸造場の経営力の強化、こういうことを目標に今回ワールドインテック側から増資も受け、同時に代表取締役も交代ということ聞いております。

これまでの経営の社長の責任というところの御質問でございますが、こちらについては産業振興部の我々のところで発言させていただくところではできないのかなというふうに感じておりますが、こちらについて会社の中で様々議論をされていくものというふうに思っております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

是里ワイナリーについては、会社は別ということで、直接赤磐市なり、この産業建設常任委

員会がその中に手を突っ込むことはないかと思えますけども、少なくとも赤磐市が特に指導という形で職員も派遣をしていると、そういう関わりがあって、指導をしてる職員の給料というのは赤磐市民の血税の中から支払われてるものだろうと考えておりますので、それがなければ何ら意見を言うところではありませんが、それがあるといことと、この産業建設常任委員会の中で是里ワイナリーについては御報告をいただいたり、それから決算の中でそれについて予算もそうですが、審議をしているという関わり合いがあるにもかかわらず、この状況は大変重要な事項だと思えます。社長交代、増資、筆頭株主じゃなくてセカンド株主というような形になるということは、当然赤磐市に対してきちっとした報告なりがない、赤磐市民に対してですね、そういうものがないと、なかなか納得できない話なんではないかな、報告をしたからいいというようなものではないように思いますが、これはなった以上は今さらどうもならない、私たちの手が届くところじゃないかもしれませんが、そのように私なりに考えておりますので、意見として申し上げさせていただきたいと思えます。

それから、先ほどにちょっと返りますけど、農業支援センターの中で業務課のほうからの業務委託が1本線の矢印になってますけども、実際に委託する業務はそれぞれあって、民間業者にもし委託するにしても、その民間業者の中に幾つかがあるのかなあというふうに思えますので、そこら辺も改めて御検討いただきたいなあというふうに思えます。

すいません、以上でございます。

○副委員長（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） すいません、産業振興部のちょっと確認をさせてください。

4ページの就農等支援センターの必要性と書いて、(1)想定される業務内容というふうな資料を添付されてるんです。これ、就農等支援センターはもう何年も前から出来上がってるもので、これを見てたら、つくるときの資料ということですか。ちょっとその確認をさせてください。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま治徳副委員長から御質問いただいた件でございますけれども、就農等支援センターは、おっしゃるとおり今ソフトの部分、担い手関係の事業は立ち上がってもう動いております。職員があのような形で配置されておりますけれども、これにつきましては、特に御覧いただいたら想定される業務っていうのは結局現場サイドのお話なんですけれども、今全くそういう農業を支えるものが実際にはないです。担い手関係のこと、ソフトばかりが動いておりますから、これが実際に想定される業務内容が実施されると、ハードも全部賄われるんじゃないかなと考えております。

以上です。

○副委員長（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） ちょっと全く答えていただけてないので、この資料は就農等支援センターをつくる前に作った資料なのか、最近作られた資料なのか、ちょっとその辺が分からないので、その確認をさせていただいてるんです。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 就農等支援センターをつくるためには全部が必要で、計画はもちろん中にありました、こういったものも。考えられとったところで、やっとこれが動き出すということです。

以上です。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 治徳副委員長の御質問、この資料自体は当初にはありませんでした。この計画を進める中で、令和3年にこの資料を調製しております。この資料の中で、今御質問の中の想定される業務、例えば2番の就農研修、あるいは3番、農地の荒廃防止、あるいは7番の農産品の加工販売、こういうあたりは就農等支援センターの計画を立ち上げた当初から必要とされる業務というふうに想定して進めております。かなり時間も経過しておりますが、そういう中で様々状況も変化する中、そのほかの部分についても現在この就農等支援センターに求められている業務ではないかということで、追加をして進めております。

以上でございます。

○副委員長（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） ということは、想定される業務内容というのは、今後この就農支援センターで取り組んでいく業務ということ、取り組んでいこうとすることを11項目上げられてるということなんですかね。

それと、さっき金谷委員長が言われてましたけども、評議委員会のメンバーとか、理事会のメンバーは初めて見たので、こういったメンバーはオープンにできるんですかね。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 今こちらに列記しとります業務につきましては、今後取り組

むべきものというものが多数ございます。中でも先ほど農地の荒廃防止でありますとか、就農研修、このあたりは現在農林課の中で就農等支援センターを組織しておりますが、そういう中で進めております。

それから、下の組織イメージ図でございますが、これはあくまでイメージ、今想定のところでございますが、こういうところを詰めていく中でオープンにしていけるものというふうを考えております。

○委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） この運営組織図も、今後の取組をしていく組織図ということか。

ごめんなさい、ちょっとよう分からなくなつて。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） これは、その上に想定される業務内容等を上げておりますが、このような業務を進めていく上で、今、下に書いておりますこういう組織が必要ではないかというふうに考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○副委員長（治徳義明君） よろしいです。

○委員長（金谷文則君） 何かほかにございませんでしょうか。

でも、今これ唐突に何か、次世代の先進農業の何とかかんとかをするからってというので、こういうフローができたような感じで、本来の一番基のものがきちっとできてないというのが、何かもうあまりにも明らかになったんじゃないのかなあって思いますね。大丈夫ですかね、本当に。何か大丈夫ですか。

是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） ただいま委員長の御指摘、重要なところと受け止めます。本来この組織が先に立ち上がって、しっかりしたものの中に、先ほど御指摘ありました民間の委託であるとかというところが出てくるというのが本来であろうと思います。今後、この組織の設立を早急に進めていくべく努力をしたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） 私が何でこれを何回も言うかという、この青空さんのが先に交渉するとか、相手として市と調整をされるということが決まった以上は、その先に何かの協定を結ぶとか、いろんなことが出てくるのかなって思って、その出てくるものの前にやっとなきゃいけないものがあって、それができないのに委員会とか議会のほうへこれについて諮られると困ります。できてない、未完のものをここへ持ってこられて、きちっと保証のできない

ものを議論しろとか、議決しろとかというようなことを持ってこないようにしないと、僕はいけないんじゃないかなと思うんです、中途半端になってしまって。本当にきちっとした組織とかものができるから出してきていただきたい。特に今のこれを見たときに強く思います。

大変青空さんには申し訳ないけど、議論の余地がないのかなとさえ、申し訳ない、私は思います。よく考えていただきたいと思います。ごめんなさい、ちょっと強めに言ってしまいました、申し訳ない。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、それでは続きまして協議事項の2番目に入りたいと思いますが、5分間ほどちょっとトイレ休憩を取りたいと思いますので、11時から始めたいと思います。

休憩をいたします。

午前10時54分 休憩

午前11時0分 再開

○委員長（金谷文則君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

続きまして、協議事項2番目、その他に入ります。

その他について執行部から説明をお願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、産業振興部の資料、また2ページを御覧ください。真ん中辺です。

2、その他、3月議会提出予定議案でございます。

①から⑤までありますけれども、今回ちょっと赤坂天然ライスのことですので、①、②と御説明がありますけれども、前後しますけれども、②から御覧ください。

赤磐市地域食材供給施設「赤坂天然ライス」は、令和5年3月31日をもって指定管理期間が満了、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律による処分制限期限が経過、普通財産に所管替えし、さらなる有効活用を図ります。

それから、①ですけれども、赤磐市地域食材供給施設基金条例を廃止する条例です。赤坂天然ライスが行政財産から普通財産に所管替えになる措置に伴いまして、基金を廃止し、残金は今後の地域振興に充てるため、公共施設等整備基金に積み立てます。

それから、次には予算の御説明になりますので、7ページを御覧ください。これ横向きになります。

令和4年度一般会計補正予算でございます。

特定目的基金で森林環境譲与税基金積立金でございますけれども、今年度行っております森



林整備の計画策定、それから同意確認業務の委託料の残額として、御覧の金額を基金に積み立てます。

それから、津崎の土地の暫定造成工事、農業経営・生産対策事業では、園芸施設整備補助金と人材投資事業補助金等、決算見込みによる減額でございます。

それから、8ページを御覧ください。

令和5年度一般会計当初予算で実施予定の主な事業として、農林関係の一般会計予算の主なものを掲載しております。農作物鳥獣被害防止対策事業は、農作物の被害低減のための防護柵設置補助等を扱う鳥獣被害防止対策協議会への補助金等を計上しております。

次に、農地集積促進事業でございますけれども、農地中間管理機構を通じての農地集積でございます。

それから、次の日本型直接支払事業は、農地農村の保全を図るための事業でございます。多面的機能支払、中山間地域等直接支払の交付金等で事業実績等を基に計上しております。

次に、農業経営・生産対策事業は、農産物の生産拡大や品質向上を図るための事業で、施設や農業用機械等の導入に対する補助金等で、生産部会の事業要望を基に計上しております。

次に、地域おこし協力隊事業は、地域おこしの隊員の活動により地域の活性化や産業振興を図るための事業でございます。

それから次に、有害鳥獣駆除事業は、防護柵の設置と併せて農作物の被害低減を目的とした事業で、有害鳥獣の捕獲活動や新規狩猟免許の取得支援のための補助金等、過去3年間の事業実績を基に計上しております。

さらに、次の松くい虫等防除事業につきましては、森林資源の保護と森林機能の発揮を図るために、薬剤の空中散布、伐倒等、松くい虫の計画的な駆除の実施によりその蔓延を防止するものでございます。

それから、9ページでございますけれども、これは財産区の特別会計予算を掲載しております。令和5年度につきましては、山方財産区で枝払いとか除伐の事業が幾分計画されております。御覧のような予算となっております。

以上、農林課からの御報告でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続いてお願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、その他につきまして商工観光課より御説明いたします。

産業振興部資料10ページをお願いします。

①令和4年度一般会計補正予算につきましては、資料の13ページをお願いします。

商工費、商工振興対策事業でがんばろう赤磐エネルギー価格等高騰対策事業者支援補助金1億2,270万円の増額を予定をいたしております。これにつきましては、エネルギー価格の高騰などによる事業者を支援するものでございまして、市内の中小企業、個人事業主を対象として支援するものでございます。法人で上限20万円程度の補助を考えております。現在、商工会さんなどの御協力をいただきながら準備を進めておるところでございます。

次に、観光費、施設維持管理事業では、事業決算見込みによる委託料、工事請負費、合計で600万円の減額、次に観光振興対策事業では、コロナ感染拡大防止のためイベント中止などによる補助金520万円の減額を予定しております。

次に、竜天オートキャンプ場特別会計繰出金につきましては、事業費決算見込みによりまして、177万円の減額を予定しておるところでございます。

続きまして、②令和4年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算につきましては、資料の14ページをお願いします。

事業費決算見込みによりまして、事業収入の増、一般財源の繰入れの減などを予定をいたしております。

続きまして、③令和5年度実施予定の主な事業につきましては、資料の15ページをお願いします。

商工振興費、企業誘致関連事業では、企業誘致の推進、市内工業団地の維持管理に関する経費を計上しております。大きな新規事業はございませんが、企業誘致関係補助金で固定資産税の減免期間が終わりまして、企業誘致奨励金の対象となった企業があるため、前年比約23%増となっております。1増1減でありますので、対象件数に増減はございません。

次に、商工振興対策事業につきましては、中小企業者への経営支援、企業活動に対する補助などの経費を計上しております。こちらも大きな新規事業はございません。

次に、観光費、施設維持管理事業では、市内の観光施設など維持管理に係る経費を計上しております。令和4年度には城山公園内の堅穴遺構の屋根改修工事など大きな工事があったことから、前年比約24%の減となっております。

次に、観光振興対策事業につきましては、市や各実行委員会開催の観光振興事業のための経費を計上しております。令和4年度は、コロナの関係から予算計上を見送ってございました花火大会などの予算を計上しておりますことから、前年比約20%の増となっております。

次に、地域おこし協力隊事業につきましては、地域おこし協力隊員の活動により地域の活性化や産業振興を図るための事業でございます。隊員の報酬や活動に係る経費を計上しております。コロナ関係で委嘱期間を延伸できる制度となったことから、1年間2名分を計上しております。

続きまして、竜天オートキャンプ場特別会計につきましては、資料の16ページをお願いします。

こちらのほうは、竜天オートキャンプ場の維持管理、運営に係る経費を計上しております。令和4年度実績を勘案して予算計上しており、前年比約23%の増となっております。

商工観光課からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続いて、建設事業部をお願いいたします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 資料が、変わります。フォルダを戻っていただいて、建設事業部資料をお願いいたします。

それでは、建設課から説明をさせていただきます。

建設事業部資料1ページの1、その他、(1)3月議会提出予定議案について、資料の2ページをお願いいたします。

まず、市道路線の変更についてとなります。資料4ページに位置図を添付しておりますが、津崎の圃場整備事業が令和4年度、本年度で完了予定となっております。事業の中で道路の配置を変更しておりますので、それに伴いまして市道の起点が変更になりますので、市道路線の変更を予定しております。

続きまして、令和4年度赤磐市一般会計補正予算について、資料は5ページ、6ページとなります。

5ページには、繰越しを予定している箇所の一覧を掲載しております。関係機関との調整や協議などの理由で年度内完了が困難となりまして、次年度への繰越しを予定しております。

6ページには、補正を予定している一覧で、主に実績見込みと追加割当てによりそれぞれ増額、減額の補正を予定しております。

続きまして、令和5年度赤磐市一般会計予算について、資料の9ページから10ページとなります。

まず、9ページの農林水産業費の1、農業費、5、農地費につきましては、農道、水路、ため池など農業用施設の維持管理及び改良に係る経費を計上しております。

6、農林水産業費、2、林業費、2、林業振興費につきましては、林道の維持管理及び開設に係る経費を計上しております。

10ページになります。

8、土木費の道路維持費につきましては、市道の修繕、草刈り、剪定など市道の維持管理に係る経費を計上しております。

道路新設改良費につきましては、市道の改良及び新設に係る経費を計上しております。

河川総務費につきましては、排水樋門や排水機場の維持管理に係る経費を計上しております。

都市計画総務費につきましては、建築物の耐震診断であるとか、計画及び空家対策事業に係る経費を計上させていただいております。

公園費につきましては公園の維持管理、住宅費につきましては市営住宅の維持管理に係る経費を計上しております。

続きまして、令和5年度赤磐市宅地等開発事業特別会計予算について、資料が13ページになります。

これにつきましては、分譲宅地の販売促進及び維持管理に係る経費を計上しております。

続きまして、資料2ページに戻っていただきまして、地方自治法第180条の規定による市長の専決処分の報告についてです。

以前報告しております令和3年11月22日に発生した物損及び人身事故につきまして、令和5年1月11日付で示談が成立し、専決処分をしておりますので、報告する予定としております。被害総額は173万9,765円、市の過失が5割で86万9,883円の補償をしており、全額を保険で対応しております。

以上で建設課のその他についての説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続いて、上下水道課よろしくお願いたします。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） それでは続いて、上下水道課からその他の案件につきまして、同じく資料2ページの下段から下でございます。

上下水道課、3月議会提出予定議案としまして、御覧のような案件の提出を予定しております。

まず、令和4年度赤磐市一般会計補正予算についてでございます。

資料7ページをお開きください。

上段、4款2項1目清掃総務費では、浄化槽整備補助事業で過疎対策事業債への財源更正を予定しております。

中段の4款3項1目上水道施設費のうち、岡山県広域水道企業団出資金を実績の見込みによりまして減額予定。

下段の8款5項1目下水道整備費では、原油価格高騰等によりまして下水道事業会計繰出金を2,586万円増額予定としております。なお、これは新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金の対象ということになっております。

続きまして、令和4年度赤磐市下水道事業会計の補正予算についてです。

8ページをお開きください。

収入の部から8款2項営業外収益のうち、先ほど一般会計補正予算で御説明しました繰出金

を他会計補助金として同額を受けるものでございます。

次に、支出の部です。

1款1項営業費用のうち、処理場費としまして原油価格高騰等によります光熱水費などを増額する予定としております。

次に、令和5年度赤磐市一般会計予算についてです。

12ページをお開きください。

上下水道課の所管事業としましては、上段、4款2項1目清掃総務費については、浄化槽整備事業補助金を予算計上しております。

同じく4款3項1目上水道施設費については、岡山県広域水道企業団への負担金及び出資金、またその他事業への負担金、下水道事業会計への繰出金の計上をしております。

中段の6款1項5目農地費では、農業集落排水事業に係る繰出金、8款5項1目下水道整備費では、公共下水道事業に係る繰出金を計上しております。

続いて、14ページをお願いします。

こちらは、令和5年度赤磐市水道事業会計予算でございます。

収益的収入及び支出のうち水道事業収益につきましては、水道料金や他会計の負担金や補助金などが主なものでございます。

水道事業費用につきましては、原水や浄水、配水に係る費用、また支払い利息が主なものでございます。

下段の表で、資本的収入及び支出のうち資本的収入につきましては、工事に係る負担金、また他会計からの補助金が主なものでございます。

資本的支出につきましては、配水管改良工事などによる費用、また企業債の償還金が主なものとなっております。

次に、15ページをお開きください。

こちらが令和5年度赤磐市下水道事業会計予算でございます。

こちら、収益的収入及び支出のうち収入につきましては、下水道事業収益としまして下水道の使用料、農業集落排水の使用料、他会計の負担金や補助金が主なものとなっております。

下水道事業費用につきましては、管渠、またポンプ場、処理場の運営経費、また支払い利息が主なものとなっております。

下段の表の資本的収入及び支出のうち収入におきましては、企業債、国庫補助金、他会計負担金、出資金などが主なものでございます。

資本的支出につきましては、汚水管渠などの整備に係る費用、また企業債の償還金が主なものとなっております。

それでは、申し訳ございませんが、3ページにお戻りいただけたらと思います。

3ページの上段、(2)次年度への繰越予定についてでございます。

水道事業会計、下水道事業会計ともに地下埋設物の移転調整、また工事間の工程調整などの結果、御覧のとおりのお繰越しを予定しておりますので御報告をさせていただきます。

以上で上下水道課、その他についての説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは続きまして、地域整備推進室、お願いいたします。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 続きまして、地域整備推進室よりその他につきまして、資料3ページをお願いいたします。

(1) 3月議会提出予定議案についてでございます。

まず、令和4年度赤磐市一般会計補正予算についてですが、資料5ページをお願いいたします。

次年度への繰越明許費としまして、一番下の欄、地域整備推進室所管事業におきまして、8款4項1目都市計画総務費で、関係機関との協議の遅れによる繰越しとして688万6,000円を予定しております。

続きまして、資料の12ページをお願いいたします。

令和5年度赤磐市一般会計予算についてでございます。

一番下の欄、8款4項1目都市計画総務費ですが、立地適正化計画等検討協議会の委員報酬など42万2,000円を計上する予定としております。

続きまして、すいませんが、資料は3ページへお戻りください。

(2) 立地適正化計画等に関する今後のスケジュール案についてでございます。

申し訳ありません、資料最後の16ページをお願いいたします。

○委員長（金谷文則君） よろしいですね。

はい、どうぞ。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 資料の左側の1番、立地適正化計画策定に係る都市計画変更の進め方につきましては、1月の委員会で説明をさせていただいたとおりでございますが、資料の右側の都市計画の変更に基づく予定事業としまして、現在策定中の立地適正化計画において、将来の中心市街地像のイメージの中に、公共ゾーンとして道の駅などの整備を考えています。その整備概要としましては、あくまで現時点での必要と考えられる機能を盛り込んだイメージ図になりますが、道路休憩施設である観光案内所、駐車場、トイレのほかにバスターミナル、それから地域振興施設として地産地消や子育て支援につながる施設、また地域活性化のイベントに活用できるスペースなどが必要と考えています。

施設の配置や運営手法など具体的な内容は、令和5年度に関係団体などの御意見をお伺いしながら検討していく予定にしております。

地域整備推進室からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、執行部からの説明が終わりました。

それではまず、産業振興部のほうから質疑がございましたらお願いをいたします。

よろしいでしょうか、皆さん。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、じゃあ続きまして建設事業部の質疑を行いたいと思います。

質疑はございませんでしょうか。

○副委員長（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） 先ほど立地適正化計画に対するスケジュールとイメージ図を提示していただいたんですけども、この前提となるまちづくりの中で、スローガンというんですか、一言でこんなまちにしていきますというようなスローガンが出てます。それが「ベッドタウンからコネクティッドシティへ」というのが、立地適正化計画でつくるまちづくりのイメージだと、こういうふうに説明も前にあったんですけども、私もコネクティッドシティってどんなまちなんかとネットなんかで調べましたら、自動車会社の静岡県の工場跡地に造る未来都市みたいなものしか出てこないんです。赤磐市のコネクティッドシティというのはどういうイメージになってるのか、ちょっと御説明をお願いします。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） コネクティッドシティのイメージでございますけれども、この立地適正化計画でございますけれども、都市計画区域の中で拠点を設けて、シェア型の都市構造を実現していこうというものなんでございますけれども、そういう取組をする中で、この地域だけではなく赤磐市全体の拠点を、公共交通を充実させるなどしてつないで、市民が円滑に移動できたり、人、物が交流するような、そういったいろいろな様々なものがつながっていきけるような赤磐市をつくらうということで、コネクティッドシティというようなキャッチフレーズをつけさせていただいております。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○副委員長（治徳義明君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 治徳副委員長。

○副委員長（治徳義明君） ちょっと本筋とは外れとんかもしれませんが、要は自動車大手さんが造ろうとする未来都市とは全く関係なくて、コネクティッド、つなぐとかという意味

合いなんかかもしれませんけども、ただ単純にそういう都市ですということによろしいか。いや、ネットで見ましたら、もう全て静岡県の未来都市が出てくるんです、コネクティッドシティでしたら。いや、どういうことで掲げられたのかなという、ちょっと単純に疑問がありましてお尋ねしました、すいません。

○委員長（金谷文則君） よろしいですか。

○副委員長（治徳義明君） 関係ないということでもいいんですよ。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） 今のコネクティッドシティという言葉、自動車メーカーのところがあったんですが、我々ちょっとそこはあんまり実は逆に知らなくて、自分らの中でどういうまちがいいかなっていうのを考えた中で、先ほど室長も申し上げたとおり、先ほど市内の中をつなぎますという話がありましたけど、それだけではなくて、さらに岡山市もありますし、もっと広いエリアもありますし、中とも外ともつながる、そういうつながって交流するまちっていうところがキーワードではないかということで、我々事務局のほうで考えた造語です。

○委員長（金谷文則君） よろしいですね。

○副委員長（治徳義明君） ありがとうございます。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

よろしいですか、皆さん。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございます。

それでは、以上で協議事項の2番目についての質疑は終了したいと思います。

その他、委員の皆さん、それから執行部の皆さんからございましたら発言をお願いをいたします。よろしいでしょうか。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 地域整備推進室からお知らせをさせていただきます。

立地適正化計画の関係で12月の全員協議会や1月の委員会などで山陽地域以外でも説明会をといた御意見をいただいております。そういった御意見を踏まえまして、3月2日木曜日に熊山地域で、3月3日金曜日に赤坂地域で、3月6日月曜日に吉井地域で説明会を開催する予定にしております。詳しくは、広報あかいわ3月号に日時や場所を掲載させていただきます。よろしく願いいたします。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） 一言申し上げたいんですけども、今おっしゃられた説明っていう



か、説明会ということが以前にもいろんな面でありました。そのときに参加して下さった皆さんの数っていうのはもう微々たるもので、そこへ参加される人がいない中で、そこで説明会を行ったから皆さんが了解をされたとか、皆さんに広報が済んだというふうなお考えをされるのか。でも、それは今までで失敗をされてるやり方だと思うので、新しくちゃんといろんな人に全部の、全員というわけにはいかないかもしれませんが、多くの方に分かっていただける形での説明会を設けられてるのか、ちょっとその辺についての説明を室長、お願いいたします。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 森本地域整備推進室長。

○地域整備推進室長（森本祐司君） 多くの方に参加いただけるような説明会をということでございますけれども、前回、山陽地域のみで開催をさせていただきました。なかなか旧山陽地域まで、ほかの吉井地域、赤坂地域、熊山地域の方にお越しいただくのは、なかなか困難な方もいらっしゃるかと思います。そういった意味も踏まえまして、今回赤坂と熊山と吉井地域で開催することによって、そのときに来ることができなかった方にも、より多くの方に来ていただけるように考えております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） それはよく分かるんですけど、多くの方って赤磐市民は4万人以上おられて、そのうちの有権者とか大人といわれる方の人数からしても、かなりの数があるって、赤磐市の中にその方たちが集まれる場所って、それぞれの地域を幾ら4分割しようが、ありません。だから、想定してる数っていうのはもう僅かな人数だろうし、僅かな人にしか説明をしないし、皆さん方が今回、要するにこの予算ではいろんなことで議員のほうもなかなか賛同できなかった、その裏としては、皆さん方がそこまで興味がないというわけじゃなくて、ちょっとあきれてる部分というか、その情報に食いついていきたいとか、どうしても聞きに行きたいとかっていうところに至ってないんじゃないかなっていうような、率直な私、意見を持っています。ということは、ちょっとやり方が何をやるにしても、前の学校の統合だとか、いろんな話のときに意見を聞くっていう集まりに行ってみても、本当に時間帯も含めて集まれるわけがない時間に開催をしたりしてる。まさかそういう時間、同じところで繰り返されることはないと思いますけども、そこら辺を一番危惧しとりまして、それをしたから、そこへ例えば赤坂地区で100人集まるかって、じゃあどうやって100人を集めるか。集まってもらうようにする、それから吉井地区でも、じゃあ集まってもらうようなやり方はどうするかっていうことを本当にされての開催の日時の決定でしょうか、3月のその日にちっていうのは。私はすごく疑問がありまして、言葉だけ体裁を整えてる説明会をしました、だからそれができましたから、今後は議会のじゃあ予算に補正で追加させてもらいますなんていうところへ進んでいくような話になるとしたら、ちょっと何かおかしいんかなっていうような気がしますけど、大丈夫なんです

ね。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） おっしゃられるとおり、恐らく今回3か所で予定しておりますけども、それほど多くの方が押しかけるというような構図になってないっていうのは、もう委員長おっしゃられるとおりだと思います。それを来られない前提が、おっしゃられるように興味を持たれてないということが本当にあるんだというふうに思います。今時点、この計画自体、まだすごくこう、ふわっとした計画です。例えば新拠点にしても、ゾーニングのような、丸のようなものを描いて、この辺りはこんなまちにしたいという、かなり方向性めいた部分しかまだないので、そういったあたりが今後、今お手元のスケジュール表で3月に素案ということで書いておりますけども、素案までいくとかなり具体化してきます。

さらに、先ほどちょっと御説明させていただいた公共エリアなんかについても、これは事業としては大きな事業ですので、この辺りも具体化していく。そうすると、今の興味というところが多分増えてくると思います。今時点、今回3月にさせていただく段階では、そんなに大勢来られないかもしれませんが、まだ計画としては道半ばで、ようやくそういう素案が固まるという状況なので、この後、スケジュールに書いてあるとおり、あとはもう来られない部分については回数を増やしたりですとか、今の広報やったりですとか、いろんな手を使いながら幅広く周知、御意見を伺うというところをつくっていくというところで、今回は取っかかりとしてまず3地域にも説明したいなあというふうに思っています。

以上です。

○委員長（金谷文則君） それはそれでいいんですけど、ずっと私が申し上げたこととか、ほかの方がおっしゃられてるのは、要は当該地域じゃない皆さん方は、自分たちのところへはどういうふうなものがじゃあしてもらえて、その計画の中で優先がある山陽エリアのこういうものをやっていく、その説明に上がるんだという話じゃないと、当該地域じゃない方々は交通の結節地点だって、そこまで行ってバスに乗り換えるなんていうことはあり得ない話です。だから、そのことを御理解をいただかないと何の説明にもならないし、人にも伝わらないですよ。だから、その計画を今日、市長がおいでになったときにこういうふうなことをやるんだというお話があるのかなと思いましたが、そういうものもないまま、ただ今までと変わらない形の説明をされて帰るんであれば、何の説明会にもならないし、産業建設常任委員会の中でお話いただくようなことでもない。私たちは赤磐市全体として物を進めていくし、このいい事業をやるに当たってみんなに賛成してもらいたいと思いますし、その代わり、じゃあそのエリアだけ発展するんじゃなくて、赤磐市全体が足踏みをそろえていこうという中で何かできるんだ、何をするんだ、何ができてきたんだっていうことを教えてください、やってくださいということをお願いをしまして、それが声を上げてからも何ら一歩も進んでないというのが現

実だと思います。だから、ちょっと観点が違って、中にはそこを変に計画書の予算のことだけを早く認めろとか、山陽地域のことだけの話をされますけど、そうじゃなくて全体をもう少し具体的にお話をいただかないと何ら申し訳ない、理解できる方もおいでになるようですが、理解のできない人間もいるということでお考えをいただきたい。意見として申し上げときます。

すいません、私が勝手なことを申し上げましたけども、そのような意見もあると御理解いただきたい。

他にございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、以上をもちまして産業建設常任委員会を閉会したいと思います。

大変お疲れさまでございました。

午前11時39分 閉会